

# 八代市デジタル化推進会議資料

---

令和3年10月27日

第1回 八代市デジタル化推進会議

# はじめに

本市のような、地方都市では、まず行政が積極的にデジタル化を進め、市民の皆様にご信頼される市役所づくりに向けて、新たな取り組みへ果敢に挑戦することが必要だと考えています。

そして、その変化を市内全域に波及させ、先端技術を活用しながら地域課題の解決を図ります。

地域資源の更なる磨き上げを行いながら、進化し続ける、将来に渡り持続可能で魅力ある選ばれるまち“スマートシティやつしろ”を目指します。



将来に渡り持続可能で魅力ある選ばれるまち  
スマートシティやつしろ



まちのデジタル化

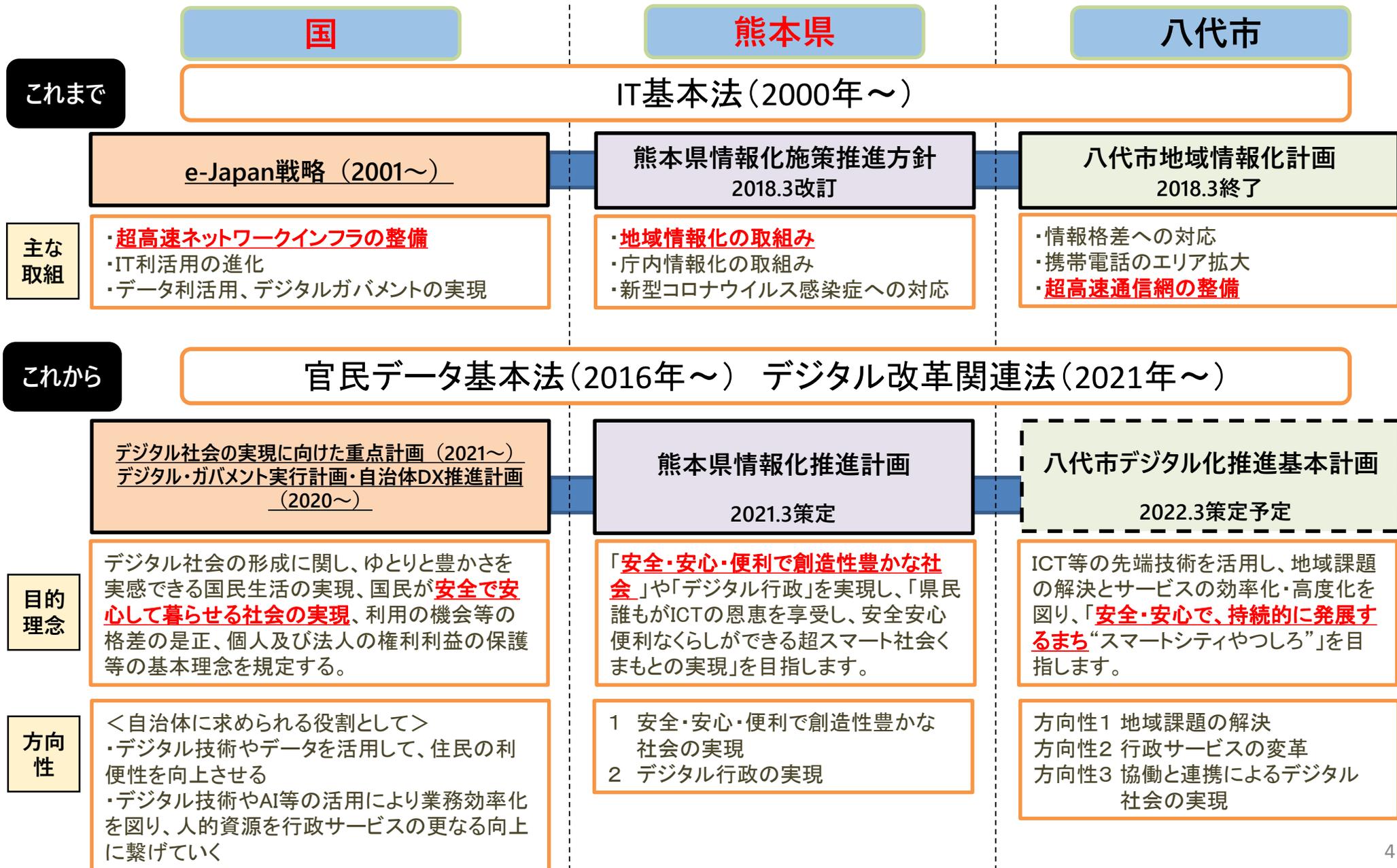


役所のデジタル化

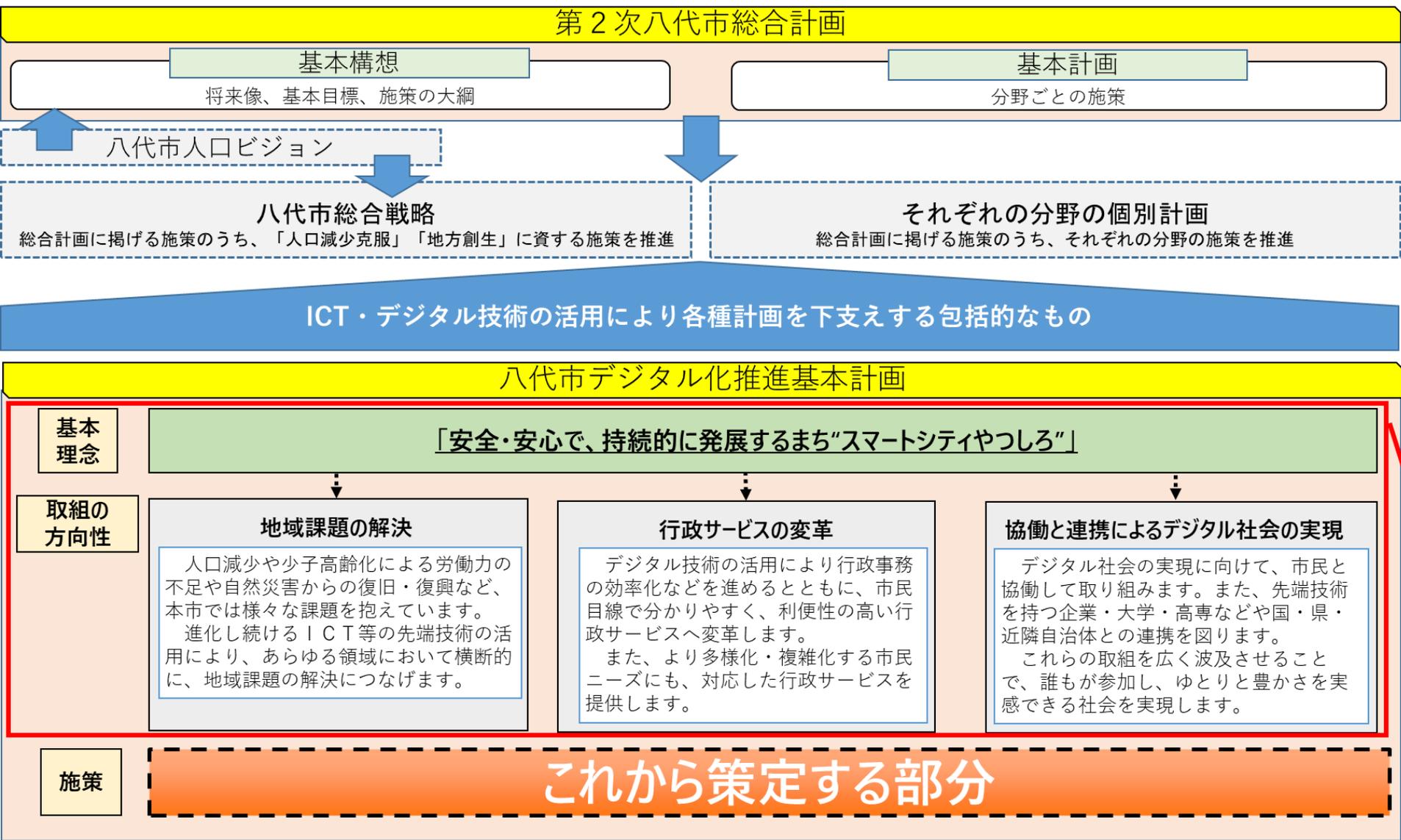
# 1 政府等におけるデジタル化に関する動向など

---

# 1-1 関連法・計画等の変遷



# 1-2 八代市デジタル化推進基本計画の位置づけ



## 2 八代市デジタル化推進基本計画 策定体制

---

### 八代市デジタル化推進会議の役割

＜八代市デジタル化推進会議要綱 抜粋＞

第2条 推進会議は、デジタル化に係る計画の策定、改定等に関し必要な事項について検討し、市長に対し提言を行う。

### 八代市デジタル化推進会議の内容

第1回(R3.10.27)

計画に掲載する各種施策の分野に対する提言

第2回(R3.11月下旬)

計画に掲載する各種施策の詳細及び具体的な取組に対する提言

第3回(R4.1月ごろ)

会議からの提言に対する計画素案の反映状況の確認

第4回(R4.3月ごろ 書面協議予定)

計画及びアクションプラン(具体的な取組を取りまとめたもの)の確認

# 2-2 八代市デジタル化推進基本計画策定の流れ

## ① 八代市デジタル化推進会議

・デジタル化推進基本計画の策定、改定等に関し必要な事項を検討し、市長に対して提言を行う。  
10名の委員で構成。

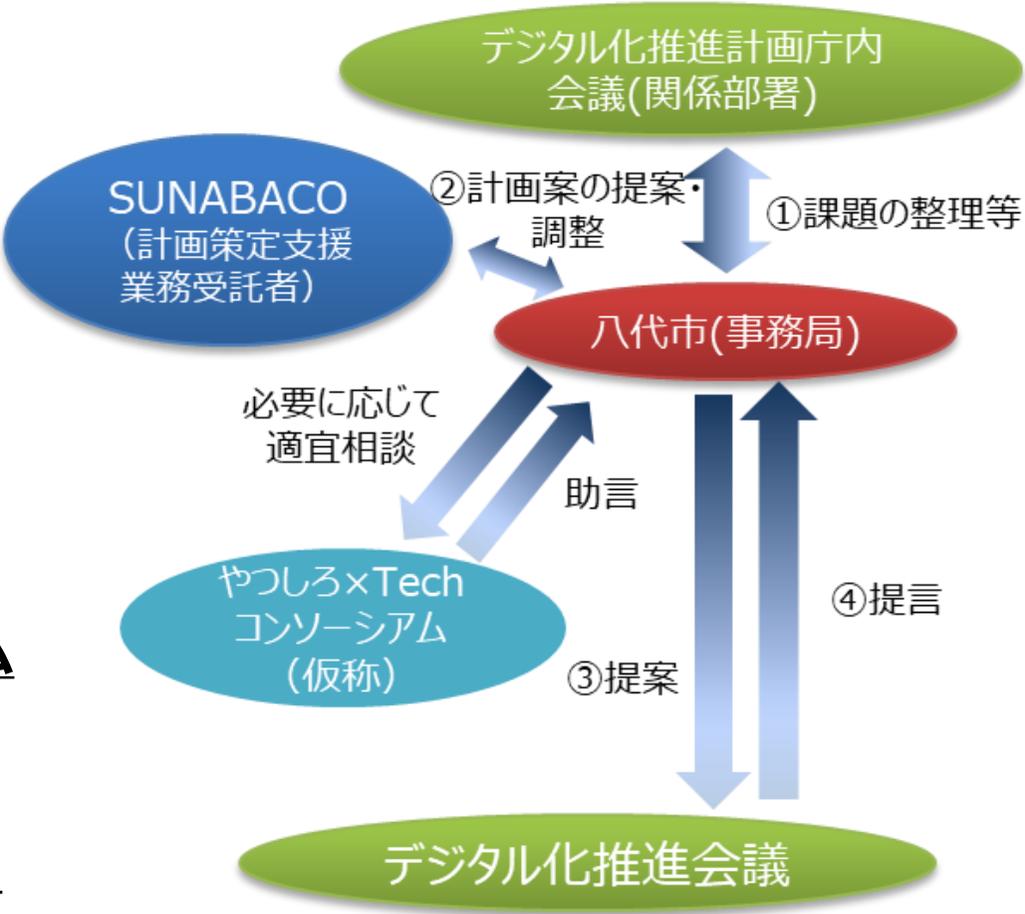
## ② 八代市デジタル化推進基本計画庁内会議

・デジタル化推進基本計画の策定にたつて、地域及び行政課題の整理、課題解決に有効なデジタル技術の特定、計画策定後の進捗管理等を行う庁内組織。(政策審議監及び関係部課長等で構成)

## ③ やつしろ×Tech(クロステック)コンソーシアム(仮称)

・市が策定するデジタル化推進計画に盛り込む施策案に関して、専門的知見から助言を行うとともに、市民、事業者等から課題解決のためにDXの導入検討を行う際にアドバイスを行う。

＜計画策定までの流れ＞



# 3 デジタル化に関する市の取組状況

---

# 3-1 デジタル化に関する市の取組の状況①

## 「"スマートシティやつしろ"キックオフイベント」での発表事項

### 現在の取組

#### 目的

新型コロナウイルス感染症の影響など、小中学校が長期間の臨時休校になっても、学びの環境を確保

市民自ら、テクノロジーを活用して、地域が抱える課題を解決

デジタルツールの使い方だけでなく、課題の発見と解決策を考え、プロジェクトを推進するための手法の学び

- ・一人一人がいつでも、どこでも、防災情報を受信できる
- ・停電により通信が遮断された場合でも、被災地との連絡ができる

- ・市民の利便性向上
- ・非接触による感染症対策
- ・窓口の混雑緩和

#### 手段

##### ICT教育の推進

- ・すべての小中学校へ、1人1台のタブレットPCを配備。
- ・市内全ての中学校における5教科のデジタル教科書の導入。

##### シビックテック(※)の推進

- ・市民有志による昨年の豪雨災害時の「豪雨災害情報サイト」を立ち上げ。

※Civic(市民)がTech(テクノロジー)を活用して地域が抱える課題を解決すること

##### 市職員のDX(※)人材育成

- ・市職員と民間企業との合同による「DX人材育成講座」の実施。

※ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること(情報通信白書より)

##### 防災へのデジタル技術活用

- ・防災アプリ「インフォカナル」の導入。
- ・人口衛星と電源供給ユニットを活用した停電時を想定した安否確認の実証。

##### その他

- ・住民票や証明書などのコンビニ交付。
- ・市税等のスマートフォンアプリ決済。
- ・市内全域の超高速光ブロードバンド整備。

## 3-2 デジタル化に関する市の取組の状況②

### 「”スマートシティやつしろ”キックオフイベント」での発表事項

#### 今後4年間の取組

##### 目的

- ・行政のマンパワー不足への対応（行政サービスの維持）
- ・デジタルで解決できることはデジタルに任せて、市民一人ひとりに寄り添う対応を強化（行政サービスの向上）

- ・挑戦する人と企業を全面的に応援し、若者にとっても魅力的なまちへ
- ・生産体制の強化と販売力の向上による持続可能な稼げる産業へ
- ・デジタル化に関する専門的な助言・提案を行い、市内の事業者や団体などが抱える地域課題の解決を図る

「デジタルデバイド」いわゆる情報格差を解消し、デジタル化による恩恵を広く行き渡らせる

##### 手段

#### 自治体のDX

- ・先進技術を活用した防災・減災の推進。
- ・いつでも・どこでもつながる市役所づくり。
- ・先進技術による庁内業務の効率化。

#### 地域社会のデジタル化

- ・中心市街地を核としたICT産業の集積と人材の育成。
- ・スマート農林水産業の推進。
- ・DXに関する各分野の専門家で構成する「コンソーシアム」の設立。

#### デジタルデバイド対策

- ・（再掲）市内全域の超高速光ブロードバンド整備。
- ・スマートフォン等のデジタル活用支援。

# 3-3 デジタル化に関する市の取組の状況③

## 「市長の基本政策(ICT関連抜粋)」

### 目的

- ・安心して子どもを産み育てることができる環境づくり
- ・八代の未来を担う子どもたち一人ひとりが個性を活かし、変化の激しい時代に対応できる「生きる力」を育む

- ・生産体制の強化と販売力の向上による持続可能な稼げる産業へ

- ・魅力ある地域資源を最大限活用し、経済発展につなげていく

- ・お住いの皆様が将来にわたり、住み続けたいと思ってもらえる魅力あるまちづくりを進め、人口減少を食い止める

### 手段

#### 次代を担う子どもの育成と安心な暮らしの創生

- ・母子健康手帳アプリなどICTを活用した子育て支援の充実。
- ・「ICT教育日本一」を目指し「学校情報化優良校」認定率100%を達成。

#### 稼げる農林水産業の実現

- ・ICTやドローン等を活用した作業の効率化・省力化推進による「儲かる農業」の実現。
- ・スマートフォン用アプリの活用など新たな販路を開拓。

#### 地域の魅力とにぎわいの創出

- ・SNS等を活用し魅力ある観光コンテンツを全国に発信。

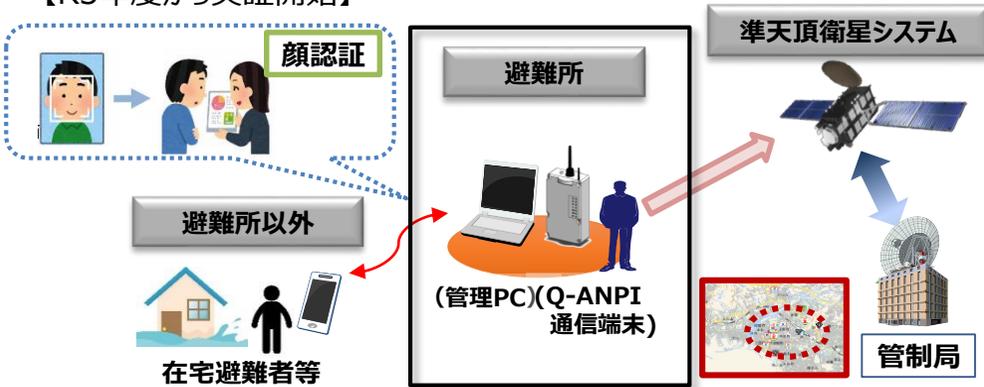
#### 持続可能な選ばれるまち“スマートシティやつしろ”の推進

- ・オンラインで行政サービスを受けられる利用しやすいデジタル市役所の構築。
- ・“誰一人として取り残さない”デジタル化の推進による地域課題の解決。
- ・「わかりやすいサービス」と「利用者サポート」の充実によりデジタル格差を解消。

# 3-4 令和3年度及び4年度に取り組む主な事業例

## 防災：スマート避難所、準天頂衛星等を活用した安否確認

- 大規模災害において固定・携帯電話が途絶した場合でも、衛星安否確認サービス(Q-ANPI)により、避難所や住宅地の避難者の安否情報を収集。
- 避難所の受付業務を顔認証で実施し本人確認や入退出管理を行う。【R3年度から実証開始】



## 人材育成・情報リテラシー：DX人材育成講座等

- 地域課題の発見とDXの活用による解決方策を学ぶことにより、職員がデジタル化を推進する力を養うよう人材研修を実施。【R3年度実施】
- 市民を対象として、地域企業と連携し、スマートフォンの基本的な利用方法やスマートフォンによる行政手続に関する出張講座を開催。【R3.10から実施予定】



## 行政：マイナンバーカードの活用・キャッシュレス化

～新庁舎開庁(R4.2)を契機に市民サービス向上と行政事務の効率化の両面からスマート化を推進～

- 新庁舎内の市民交流エリアの利用申請・支払いをデジタル化
- モバイルバッテリーシェアリングサービスの設置(平時には観光PRとして、災害時には非常用電源として活用)



申請はオンライン

支払はキャッシュレス

- マイナンバーカードを職員証として活用、会議室等の入退出時の利用検討



カード利用の促進

職員が利用に慣れる



## その他：推進体制・検討会等

- 「やつしろ×Tech(クロステック)コンソーシアム(仮称)」の設置。【R3.11設置予定】
- 郵便局との連携強化によるスマートシティの具現化に向けた検討会の設置。【R3.11設置予定】
- IoT機器を活用した鳥獣被害対策に関する効率化支援の強化。【R4年度予算措置予定】
- AI・RPA等を活用した自動化・効率化を図る業務の更なる拡大の検討【R3年度検討】
- 外国人市民と市職員が円滑に窓口相談ができるよう多言語通訳システムの導入【R3.10から実施】

## 4 市民から寄せられた意見

---

# 4-1 八代デジタル化 アイデアファクトリー

## 八代デジタル化 アイデアファクトリー

アイデアファクトリーとは、市民の皆さん、市内事業者の皆さんなど、本市に関わる多くの皆さんから、デジタル化に関するご意見やアイデアを広く頂戴し、よりよいまちづくりを進めていくことを目的としています。

生活の中で「こうしてほしい」と感じることや、「こうなったらいいな」というアイデアを募集しています。

タイトル **必須** 100文字以内

デジタル化に関するアイデア

詳細内容 任意 1000文字以内

こんな事したらいいのではないのでしょうか

カテゴリ **必須**

健康・医療

[投稿の禁止事項を確認](#)

投稿

## 4-2 アイデアファクトリーに寄せられた意見①

タイトル	内容	分野
窓口業務のオンライン化	わざわざ窓口まで行かなくても、オンラインで相談や書類の申請ができれば、来庁が難しい方や、遠方の方にとっては便利に。	行政
道路の陥没等通知サイト	Google Map等の地図サイトから、道路の陥没等をお知らせするサイトがあったら便利だと思います。また、写真などを添付できれば、確認作業の手間といたずら防止になると思います。ご検討をお願いします。	行政
子育て	児童手当の現況届が、役場に各家庭から持参でなく、スマホからできれば助かります。	子育て
(未記入)	<p>八代市で企業している商業施設店舗・市県営施設のALL参加による「今日の八代市で何があるのか？」が一目瞭然でわかるWebサイトの設営</p> <p>現状の市報や市のWebサイトでは役不足だし投稿の表示数も少なすぎて論外。ぐぐってもまったく検索に出てこないすべての商店のすべてが自由に書き込んでイベントの宣伝を行う事ができるWebサイトを作るべきそれがそのまま人の流れになって地域交流や地域活性化につながる。</p> <p>今「今日の八代市」で何があるのか？を探してもWebでは全く出てこないしそもそも表示される数が少なすぎる。みんな新聞の広告チラシのみでやってるようなものですたれていく新聞の広告でしか情報が得られないとか論外やろ「商業施設商店市県営施設のALL参加サイト」があれば人は毎日目を通すし人は動くよ費用対効果の面でも商店に対する「営業とサイトの運営」だけですむ。そんなに金もかからんよ</p>	にぎわい
他の地域との交流を増やして八代を元気に	<p>八代市も人口が減ってきていますね。これを何とか上向きにできればと思っています。でも、他の地域と違うことをやらないといけません。</p> <p>飛驒の事例ですが、ひだすけというHPがあります。https://hidasuke.com/</p> <p>クラウドファンディングの人間版とも考えられるし、課題と解決策のマッチングでもあると思います。</p> <p>このようなことをやると関係人口も増えるし、地域の困りごととも解決につながる、一石二鳥の取組だと思います。</p>	にぎわい

# 4-3 アイデアファクトリーに寄せられた意見②

タイトル	内容	分野
<p>生涯学習講座を自宅(パソコンとかスマホ)から受講したい！</p>	<p>公民館や公共施設で色々な生涯学習講座(体を動かすヨガとか体操、文化系の筆ペンとかパンづくりとか)をされていますが、仕事をしている昼間の時間帯の開講だったり、夜のどうしても家を離れることができない時間帯の開講だったり、遠方の会場だったりで諦めざるを得ないことがあります。 受講料はちゃんとお支払いをするので、Zoomなどを使ってオンラインで自宅から受講することができるの良いなと思います。Youtubeなどで後追い受講ができるのもっと助かるのですが。 働く世代や子育て世代が生涯学習講座に参加できるだけでなく、高齢者の方も自宅で体を動かしたり頭を使ったりして健康寿命を伸ばすことができるのでは！？と思います。</p>	<p>健康</p>
<p>AIを活用して移動を便利に</p>	<p>八代市はバス運賃上限200円や循環バス・乗合タクシーが160円均一等、近隣自治体には無いくらい安価に公共交通が提供されています。 一方で、利用者が少なく、採算が合わなくなったのかバスが少しずつ減便されて、不便になっている面もあるように感じます。高齢化(自分で運転できない人の増加)が進む中で、移動手段・人流の減退はまちの活力や高齢者の生活維持に支障を来すのではないのでしょうか。 こうしたことから、平野部においてはある程度時間帯を決めて(30分間隔で30分前までに予約が必要とか)AIによるタクシーの配車・乗合システムを構築するのはどうでしょうか。回想したり待機しているタクシーをAIが把握し、予約した人の所を周って目的地まで運ぶ仕組みです。八代の良いところは安価な運賃と言いましたが、利便性が上がれば運賃を上げて、今のバス路線を廃止しても良いと思います(1人500円とか)。また、ある程度時間を縛ることでタクシー屋さんとの競合も回避できます。 勿論、通学に使われているようなバス路線や市街地循環バスといった幹線はバスとして残すべきですし、山間部など配車が難しい所は今の乗合タクシーが適切かと思いますが、平野部で抑制した経費をそうしたバス路線に回して充実を図ることができるのではないのでしょうか。</p>	<p>交通</p>
<p>学校配布文書のデータ化及び連絡帳アプリの作成</p>	<p>昨年市内の小中学校の生徒一人一台タブレットの配布がされました。学習時だけの利用にとどまらず、学校からの配布文書をデータ化し、タブレットでみれるようにしてはどうでしょうか？例えば学校から保護者への案内文を生徒全員分印刷よりPDFにして、学校からの連絡フォルダを作って各タブレットにダウンロードし帰宅後に子供と大人でタブレットを利用するといった良いなと思います。 学校の書類を管理する時間とコストは膨大な量になっているように感じます。 あと、連絡帳アプリを作って、出欠・健康管理・時間割等を配布タブレットと保護者のスマホの中に入れて連動させるといいかと思います。</p>	<p>教育</p>

## 4-4 アイデアファクトリーに寄せられた意見③

タイトル	内容	分野
新庁舎の売店等(便利に)	電子マネー、QRコード、クオカード、クレジットカード、使用出来る様に!セミセルフレジ導入で三密(一密)解消して下さい。今の状態は緊急事態宣言もの	行政
地域活動における文書の電子化を支援できないか	回覧板をはじめ子供会や学校からのお知らせ、市の広報誌など、紙で配布される文書が多い。希望する方には電子データで配布できるような仕組みを作れないか。例えば、アプリを活用したり、Webサイトにログインすることで、自分に関係する文書が送られてきてWeb上で閲覧できたり、イベントなどへの出欠確認もできたりすると、多くの人の手間や印刷コストが縮減できると思う。そういった仕組みを行政で推進してもらい、市民の身近な所からデジタル化を進めてほしい。	市民協働
オンライン学習の普及	感染症流行や、自然災害に強い場所にとられない学びの場を提供 学校に拘らない、学校に行きづらい子供にも学ぶ機会・居場所を作っていく。	教育
在外選挙のネット投票の実証実験地に	いま総務省が、海外に住む日本人有権者が国政選挙時に使う在外投票制度のネット投票化に向けて動いています。 すでに茨城県つくば市などで実証実験が行われているのですが、八代のスマートシティ化に合わせて、八代市もその実証実験に参加してはどうかと思いました。 日本政府は在外選挙のネット投票化をきっかけに国内にもネット投票を導入するつもりなので、ぜひ八代がその先駆けになればと思い、提案してみました。	行政
情報の共有によって皆で住んで良い、訪れてよい、働いてよい八代を作りたい	行政の持つデータ、地域にある困りごと、事業者などの関係者の知恵や情報などを結び付けることができる場、プラットフォームができないでしょうか。どうしたらいいか分かりませんが、デジタル化をすることで、もっと住民や働いている我々が活躍できると良いし、そう思いたい。そのためには、情報も共有し、いろんな主体が、できることをできたしこして、よい将来像を描ける八代に近づけていければと思います。地域で暮らすことが楽しくなれば、きっと他所からの移住も増えると期待します。	行政
デジタルによる利便性の向上	デジタルデータを活用して、様々なサービスに関して、行政を意識せずに生活できるようにしてほしい。様々な手続きに印鑑登録や住民票、納税証明書などが必要で煩わしい。最近はマイナンバーカードでコンビニで取得できるようになったが、そもそも個人が同意している場合には、このような書類を行政や事業者間でやり取りしてほしい。また、出生や死亡などは病院などで届け出ることを可能とするなど、市役所に行く機会、市役所を意識する場面をなくしていただきたい。	行政

## 4-5 アイデアファクトリーに寄せられた意見④

タイトル	内容	分野
IT専門大学設立	<p>八代在住の人はもちろん、県外、国外からも若い人を募って八代に若いパワーを集められれば。在学中は八代の各企業のITで困ってる事を解決する事を卒業課題として勉強してもらえれば、企業のITリテラシーを底上げ出来るのでは？と。</p>	行政
住民票が県外からもがもっと楽にとれたらいいな	<p>住民票も紙だけじゃなくてPDFとかでもてたらいいなあ</p>	行政
災害対応経験のデータ化推進	<p>災害が発生する前も後も、市職員で災害対応に当たります。 八代市は近年熊本地震や令和2年7月豪雨災害と、大規模災害に見舞われました。被災した市民に向けてスムーズに支援を行うため、これまでの職員の災害対応の実務経験をデータリスト化することで、業務のパフォーマンスの向上につながるのではないのでしょうか。特に専門性がある業務に関して、有効性を感じることができると考えます。他市町村への災害派遣も被災地のオーダーを元にリストから人選が可能となります。 別の観点で、市職員以外でも応用可能です。市民の中で災害ボランティア・防災士・消防団等の災害対応経験がある人を登録してリスト化し、オープンデータとして活用してはいかがでしょうか。 適材適所、経験を最大限フル活用できるリストができるといいですね。</p>	防災
行政情報のペーパーレス	<p>広報誌、回覧など行政情報が紙で届きますが、個人的にはデータでいいと思っています。印刷費、配布する労力も減るし。希望者だけでも電子化していけないのかな。</p>	行政

# 5 計画に掲載する施策の分野

---

# 5-1 計画に掲載する施策の分野

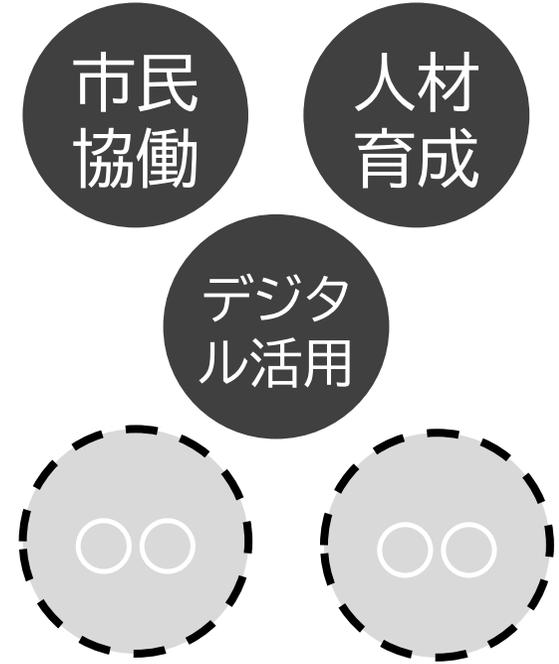
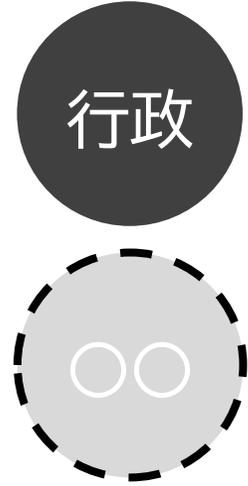
取組の  
方向性

地域課題の解決

行政サービスの変革

協働と連携によるデジタル社会の実現

施策



本日は、皆様が日ごろ感じている市の課題やお示した施策分野についてのご意見を申し上げます